



# 学校だより

令和5年4月28日  
横浜市立太田小学校  
5月号

## みつけたよ

校長 丸山 稔

「こんなのみつけたよ。」

生活科の時間に公園に「たんけん」に出掛けた2年生を追いかけて公園に行ってみると、子どもたちが発見した宝物を見せてくれました。(どこにあったの?)「ええっと…」「あった。あった。」「ここらへんにあるよ。」その時もう一人の子がゆっくりと目を下



から上に向けていきました。「あ、この木だ!」指差す先に、まだ青い桜の実が揺れています。(どれどれ? …ああ、木についているのは色が違うね。)「きっと、みどりの実が、赤くなって落ちたんだ。」「そうだよ。トマトさんといっしょだよ。」(へえ。)そうして、一緒にぼんやりと桜の木の枝を眺めていると、「さくらだ!」と大きな声がこだまします。なんと、茂る菅葉の中に2輪だけ花が咲いています。「さくらの木だ!」「さくらの



実だったんだ。」子どもたちの表情が生き生きと輝いています。(いいぞ、いいぞ。)子どもたちは目と手と足で情報を集め、これまでの経験を手練り寄せて、集めた情報を総合・判断し、新しい知の地図を描いていました。

その後、子どもたちが、「春はもう終わったのに、まださくらがさいているんだね。」と話しているのを聞いて、また、うれしくなりました。季節の移り変わりはペンキで色を塗り替えるようなものではありません。今年の春はほんとうに早足でしたが、夏の兆しと春の(ときには冬の)名残が交錯する「今」を、子どもは、ちゃんと、とらえているのです。みずみずしい感性に心が洗われます。



新緑を楽しむのにも潮風を楽しむのにも絶好のさわやかなこの季節ですが、新年度の疲れが出てくる頃でもあります。連休中は、お子様に無理のない計画で、よい休日をお過ごしください。



横浜市立太田小学校～since1873